

2019年度 研究科プロジェクト（独仏語圏文化学会）

「モダニズム揺籃期における産業/芸術観の諸相——ヨーロッパ比較文化論の視座から」

第4回 定例研究会

世紀転換期のドイツと建築・芸術



1. ヴィルヘルム帝政期ドイツにおける建築・デザインの新局面

—ヘルマン・ムテジウスによる改革の諸相とその広がり—

報告者：田所 辰之助（日本大学理工学部）

2. フォルムとドイツ精神

—ヘルマン・ムテジウスの *Wo stehen wir?* (1911) を手がかりに—

報告者：長谷川 健一（大阪市立大学文学研究科）

3. ディスカッション

日時 2020年2月22日（土）15:00～18:00

場所 高原記念館2階 特別会議室

事前申込・予約不要 どなたでも参加できます。問い合わせ：白田研究室<shirata@lit.osaka-cu.ac.jp>